

## 地球環境保全修復宣言

# 地球を大事にする™

TAKE GOOD CARE OF THE EARTH™

# 日本工業大学

地球は痛め付けられている。

地球を見捨てて脱出する物語を現実のものにしてはならない。  
わたしたちは地球に感謝し、恩返しをすることを一日に一つでも  
具体的に行動にうつしていきます。

ISO  
14001  
認証取得



日本工業大学は、平成13年6月27日に「国際環境規格ISO14001」を認証取得。一部施設だけでなくキャンパス全域を対象とした日本の教育関係の認証取得は、本学がさきがけをなすものです。

### 「目指せ3つのE改革」をスローガンに 環境改善へ燃える学生、その決意と活動を報告。

#### 目からウロコ、環境問題が良くわかる!

NHK解説委員・小出五郎氏「ISO14001認証取得記念講演会」(内容抜粋)

#### ここまで達成できました

N.I.T.環境マネジメントシステム・初年度の実践結果報告

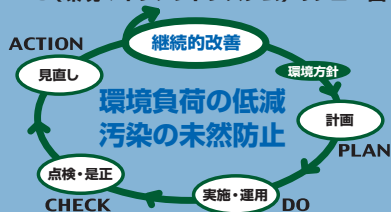
#### 大学では様々な角度から環境を研究しています

環境に関する卒業研究&大学院修士論文

#### 情熱のバトンタッチ!

学生環境推進委員会・新旧委員のメッセージ等を掲載

EMS (環境マネジメントシステム) のフロー図



# STUDENT ACTION

## 学生環境改善活動&学生環境方針

### 環境改善へ向けた学生の主体的な活動と宣言を発表

学生の自主的な活動の主なもの下記のとおりです。授業や卒業研究、期末テストや卒業・進級などの時期をくり抜けるようにして、全学生への呼び掛け、説明会の開催、新入生オリエンテーションでの協力要請、大学の審査時の立会、学

生環境推進委員の公募等々を行ってきました。そして現在、自らの学生環境マネジメントマニュアルの完成と、2002年4月からの実践に向け活動しているところです。

#### 学生環境推進委員会の活動記録

- 平成12年6月9日(金)  
大学と学生代表の初会合。ISO14001認証取得について
- 平成12年10月10日(火)  
大学の「環境推進・キックオフ大会」に学生代表出席
- 平成12年11月22日(水)  
学生総会。新中央執行委員長より環境推進活動に対する所信を表明。全学生の協力を要請
- 平成13年1月23日(火)  
外部講師による学内学習会、「ISO14001と地球をとりまく環境」を開催。学生約150名出席。同時にアンケート調査実施
- 平成13年1月31日(水)  
学生自治会の組織に学生環境推進委員会を新設
- 平成13年3月30日(金)  
(株)JACO・川上講師による学内研修会・懇親会開催。27名出席
- 平成13年4月17日(火)  
学外研修、「環境マネジメントシステム構築入門コース」に6名参加
- 平成13年5月29日(火)  
学生総会。学生自治会の自主的環境管理活動を正式に決議。出席者654名に大学の環境方針を配布
- 平成13年6月27日(水)  
大学、国際環境規格・ISO14001を認証取得・登録
- 平成13年7月10日(火)  
大学と学生代表の定期会合。修正後の「全学EMS組織」を決定
- 平成13年7月16日(月)  
大学と学生代表の定期会合。環境側面・環境影響評価に関する研修。使用電力・用紙等の環境側面調査を開始
- 平成13年8月1日(水)  
大学と学生代表の定期会合。各セクションごとの計画を推進
- 平成13年8月21日(火)  
大学と学生代表の定期会合。各セクションごとの進捗状況について協議
- 平成13年9月1日(土)  
大学と学生代表の定期会合。環境影響評価基準・評価表を作成
- 平成13年9月4日(火)  
大学と学生代表の定期会合。環境マネジメントプログラムを灯油・電力・用紙・一般廃棄物の4項目について作成
- 平成13年9月20日(木)  
大学と学生代表の定期会合。環境マネジメントプログラム及び学生環境方針案について協議



- 平成13年9月28日(木)・29日(金)  
(株)JACO・島本講師による「内部環境監査研修会」を開催。学生28名参加。参加者(28名)全員合格。認定証が授与
- 平成13年10月2日(火)  
「学生環境方針」を決定
- 平成13年10月10日(水)  
「学生環境推進活動・キックオフ大会」を開催  
理事長、学長、後援会長・工友会長他学生・教職員約250名出席
- 平成13年10月16日(火)  
大学と第1回「EMS推進協議会」開催

学生環境推進活動・キックオフ大会は、あいにくの雨という天候にも関わらず、会場の学生センターに多くの学生・教職員が集まって盛大に行われました。



まず、主催者を代表して、中央執行委員会委員長・佐藤人詩(M4)君が挨拶。続いて、大川理事長、神馬学長、竹内代表環境管理責任者、佐藤後援会会長、香澤工友会会長から学生に対して激励の挨拶がありました。

さらに、文化団体連合会会長の高澤昌樹(M4)君が、これまでの活動の経過を報告。キックオフ宣言として佐藤君が学生環境方針を読み上げ、自らサインして学長に手渡すというセレモニーでは、会場に大きな拍手が沸き起こりました。

あちこちで環境談義の花が咲く中、中心メンバーの1人として活動を支えてきた体育会会長の関根伸一郎(S4)君が力強く三本締め。期待以上の盛り上がりを見せた大会を閉会しました。

学生自治会の代表者9名(通称9人のサムライ)でスタートし、最初は何から始めてよいかわからなかった学生ISO。大学のISO事務局との会合を積み重ねて大学の取り組みを理解し、自らの見聞も深めるなどの活動を展開。現在では「学生環境推進委員会」という組織を確立して学内に専用の活動場所を持ち、その努力が着実に成果となって現れ始めています。

#### 学生環境方針

日本工業大学学生自治会は、大学とのコミュニケーションや連携を緊密に保ちながら、学生自身の環境マネジメントシステムを構築し、実践し、継続的改善をはかります。

## “目指せ3つのE改革” Ecology & Energy & Engineer

1. 私たちは、21世紀を担う若者として、地球環境に対する有益な取り組みが主体的に行えるように心掛けます。
2. 私たちは、積極的に学び、研究し、環境に優しいエンジニアを目指します。
3. 私たちは、学生生活全般を通してマナーやモラルの向上をはかり、自らの学ぶ環境を大切にします。
4. 私たちは、エネルギーや資源を有効に使い、大学が掲げる「クリーン・グリーン&エコキャンパス」の達成を積極的に推進します。
5. 私たちは、自らの環境保全活動が、地域住民と調和し、理解され、互いに協力しあえるものとなるよう努力します。
6. 私たちは、この学生環境方針を達成するために、一致協力して環境保全活動を推進します。

— この学生環境方針は文書化し、全学生、全教職員及び学内関連機関に周知するとともに広く一般にも開示します —

平成13年10月10日

日本工業大学学生自治会 中央執行委員会委員長  
平成14年度 四釜 正明  
平成13年度 佐藤 人詩



## ごあいさつ



### 「技術倫理」学習を旨として

昨年6月27日、晴れての《ISO14001》認証取得以来、教職員ならびに学生の「環境マインド」が著しく向上。さらには社会的にも高い評価をいただき、運動の責任者として無上のよろこびを感じております。

とくに、学生たちがこの運動に自発的に参加、独自の綱領まで掲げてキャンパスの環境保全や美化に献身していることは、従前から「技術倫理」の修得を旨とする本学にとって、まことに大きな成果と意を強く致しております。なぜなら、技術倫理へのまなざしが高揚するということは、いま日本技術者教育認定機構（JABEE）が掲げる国際資格の主要な柱に照らして、学びの方向性に大きく寄与すること、これ疑いないからであります。

とは言え、まだまだ環境対応を旨とした研究の促進など、取り組むべき課題は山積しております。したがって、学園関係者のより一層のご努力を願ってやみません。

学校法人 日本工業大学 理事長 大川陽康

### 大学の「環境保全」の基本は

日本工業大学では、一年余にわたり、全教職員、学生、それに学内関連機関が一体となって環境保全活動を積極的に推進してきました。ISO初年度の目標に定めたエネルギーや上水、紙の使用量、廃棄物の排出量の削減、さらにキャンパス内の緑化にも力を注いできました。本学のこの環境推進活動の特筆すべき点は、学生が自ら環境方針を策定し、推進のための組織をつくって積極的に活動へ参画していることです。

また、大学の環境保全の基本は何といっても研究・教育活動にあります。この点、学内全分野からの環境に関する研究が充実、カリキュラム面では新しい環境関連科目の講義が多数の受講生を集めて実施されました。地元住民の方々に公開の特別講演会も10回にわたって実施。教職員や学生のみならず地元住民の方々の環境共生マインドの向上にも大きく貢献することができました。今年度も、この成果を踏まえ、環境保全の活動をスパイラルに高め、とくに研究・教育活動の活性化に努めて行きたいと念じております。

日本工業大学教授（文博） 代表環境管理責任者 竹内淳彦



## 日本工業大学は建学の精神を95年間、 脈々と受けついでいます。

1. 理論と実践のくり返しを通して、高度工業社会の知識を体系化し得る知的技術者の育成につとめています。
2. 個人の能力・感性を育む、工業高等学校から本大学へと手づくり教育による創造的技術者の育成につとめています。
3. 未踏の領域に挑戦する技術者の支援と育成につとめています。
4. 本大学は企業と協力して、問題の解決にあたる技術者の育成につとめています。
5. 地球と共生することのできる視野に立ち、自ら具体的な実行にうつしていける技術者の育成につとめています。

### N.I.T.の環境方針

日本工業大学は、地球環境の保全が人類全体の最重要課題であることを強く認識するとともに、キャンパス内のすべての活動が環境と調和するように十分配慮して環境マネジメントシステムの構築をはかり、次の活動を積極的に推進します。

1. 本学のすべての活動において、環境に及ぼす影響を常に意識し、環境汚染予防を徹底するとともに、環境マネジメントシステムの定期的な見直しをはかり継続的改善を推進します。
2. 本学のすべての活動において、環境関連法規制及びその他本学が同意した要求事項を遵守します。
3. 本学のすべての活動において、以下の環境目的・目標を設定し、誠意をもって取り組みます。
  - 1) 本学の標榜する「ものづくりの技術」と「環境マインド」を兼ね備えた学生を育成し、さらに環境共生技術に関する研究の進展をはかること。
  - 2) 本学の教育・研究活動成果を公開講座、シンポジウムなどを通じて広く地域社会にも開放し、環境共生意識の啓発・普及をはかること。
  - 3) 本学の環境負荷低減についての研究成果を、可能な限り自らの環境管理活動において実践し、環境マネジメントシステムへの反映をはかること。
  - 4) 省資源・省エネルギー施策の展開、廃棄物の削減・適正管理、化学物質の適正管理、キャンパス緑化の推進向上などに積極的に取り組み「グリーン・グリーン&エコキャンパス」の一層の推進をはかること。
  - 5) 本学が購入する物品について、グリーン調達を推進をはかること。
4. この環境方針を達成するため、全教職員、学生及び学内関連機関が一致協力して環境保全活動を推進します。

# ECO-CAMPUS WATCHING

エコキャンパス・ウォッチング



これからは君達の時代だ。  
環境への意識が向上してきたけどもう一踏ん張り。  
がんばれよ!

## 学生環境推進委員会 前委員 9名

**佐藤人詩** 前中央執行委員会委員長 機械工学科4年 長岡工業高校 一年間の活動を通して環境に対する意識や行動が大きく変化しました。後輩達には大勢の学生が興味、関心を抱く事の出来るきっかけを創り出せるように頑張ってください。

**今井彰広** 前中央執行委員会副委員長 機械工学科4年 長岡工業高校 大学との連携をより深め、更なる環境改善になる事を期待しています。

**古澤雅仁** 前中央執行委員会会計局長 建築学科4年 高田工業高校 それぞれ自己の置かれた状況に応じ、環境問題に積極的に取り組まれることを期待します。がんばって下さい。

**岩谷 勇** 前大学祭実行委員会委員長 機械工学科3年 東京工業高校 この1年間いろいろな事がありました。昨年10月に学生環境方針が完成し、11月の大学祭では環境についての発表ができ、次の世代につなげられて本当によかったと思います。

**藤原大助** 前体育祭実行委員会委員長 建築学科4年 水島工業高校 私は、一年間ISO認証取得に携わって来ました。環境の事についていろいろ考えることで自分自身も向上した様に思えます。だから次期委員長の 上田君にもISOを通して自分自身も向上し続けてもらうように取り組んでもらいたいと思っています。

**加藤正和** 前卒業アルバム委員会委員長 電気電子工学科4年 長岡工業高校 9人のサムライの1人として活動してきたことは、ISOの中のほんの一部でしかありませんでしたが私にとってはとても大きな経験でした。

**戸田健太** 学生生活向上委員会委員長 機械工学科3年 東京工業高校 今まで1年間活動してきて、自分を取り巻く環境についてさまざまなことがわかりました。これからは、それらを将来の自分のこやしとしながら日々頑張っていきます。

**関根伸一郎** 前体育会会長 システム工学科4年 茂原工業高校 学生による環境推進活動、システムの構築に取り組みました。やり残したことも多々ありますが、学生環境方針を完成できたことはとてもうれしく思います。次へのステップは次期の役員たちにがんばってもらいたいと思います。

**高澤昌樹** 前文化団体連合会会長 機械工学科4年 行田工業高校 君達の時代が来ました。それぞれの信念の基、各委員会の代表として、また学生環境推進委員として、決して後悔しない学生生活を送ってください。

## 学生環境推進委員会 現委員 19名

**四釜正明** 中央執行委員会委員長 建築学科3年 米沢工業高校 私自身も学びながらではありますが、学生環境方針に掲げた目標に一步でも近づけるように全力をあげて環境推進活動に取り組んでいきたいと思っています。

**今川貴博** 中央執行委員会副委員長 建築学科3年 札幌工業高校 まだまだ勉強不足ではありますが、先輩方から引き継いだことを日々学びながら頑張っていきたいと思っています。

**小林 巧** 中央執行委員会副委員長 建築学科3年 下館工業高校 私達の先輩方が頑張ってきた事、成そうとしてきた事をしっかりと理解し、今後の活動に励んでいきたいと考えています。

**久保田拓義** 中央執行委員会会計局長 建築学科3年 沼津工業高校 学生環境推進活動を通して、より多くの人に環境に対する知識と関心を持ってもらえるように努力していきたい。

9人のサムライから新たな19人のサムライに、「学生環境推進委員会」が引き継がれました。旧委員からの活動を振り返ってのメッセージ、そして新委員の活動にかける抱負を紹介します。

「学生環境推進委員会」、情熱のバトンタッチ!

**上妻陵大** 中央執行委員会 情報工学科2年 玉造工業高校 今後、ISOについて理解を深め、環境に対し精力的に活動し、継続的改善を図っていきたく思います。

**星 義一** 大学祭実行委員会委員長 建築学科2年 会津工業高校 私たち、学生にとってのISO活動がいよいよ動きだします。何事も初めて行うというは大変ではありますが、その大変さ乗り越えた時に、自分たちの行った活動に満足できるよう頑張りたいと思います。

**上田 祐** 体育祭実行委員会委員長 機械工学科3年 蔵前工業高校 環境マネジメントプログラムを実施し、より良い環境で学生が活動できるよう頑張っていこうと思います。

**滋野 巧** 体育祭副委員長 機械工学科3年 蔵前工業高校 ISOに携わることによって、この大学を学生にとってより良い環境にしていきたく思います。

**根本昭彦** 卒業アルバム委員会委員長 機械工学科3年 東京工業高校 昨年の夏より前委員長の下ISO14001を学び、環境改善には、まず一人が行動する事の重要性を感じました。今後委員長として、その責任と使命を果たすべく頑張っていきたいと思います。

**戸田健太** 学生生活向上委員会委員長 機械工学科3年 東京工業高校 私は9人のうち一人だけ、ISO活動2年目を迎えます。新執行部の一員として大いにかんばります。

**宗像正夫** 体育会会長 システム工学科3年 清陵情報高校 一人でも多くの人達に、環境について知ってもらえるように務め、その中から身近な環境について考える人が一人でも多くなるよう努力していきたい。

**三浦公也** 体育会副会長 システム工学科3年 一関工業高校 環境というものを今一度考え直し、先輩方から引き継いだことをより大きく、より一層広がるようにしていきたいと思います。

**廣田頼昭** 体育会副会長 建築学科3年 豊橋工業高校 多くの学生に環境のことを理解してもらい、学内のゴミを少しでも多く減らせるように努力していきます。

**荒井伸之** 体育会財務局長 機械工学科3年 東総工業高校 自分達だけでなく、もっと多くの学生に環境について考えてもらえるように活動していきたいと思います。

**片田 久** 文化団体連合会会長 電気電子工学科3年 松本工業高校 ISO14001を計画実行していく中で一人一人が環境に対する関心を少しでも抱き、より充実したクラブ活動が行えるよう努めていきたい。

**小出家太郎** 文化団体連合会議長 機械工学科3年 東京工業高校 今年一年間自治会でISOの活動を行って来て、その活動がとても地道なものだと感じ取れた。これからまた一年間焦らず着実にISOでの活動、文化団体連合会で言えば大掃除大会をより大きく内容の濃いものにしていこうと思う。

**渡邊勝郎** 文化団体連合会庶務局長 情報工学科2年 東京工業高校 昨年は内部環境監査講習に始まり、キックオフ大会、プログラム作成。それと同時に、文団の仕事や大学の講義とめまぐるしく忙しかったのですが、やりがいがあった一年でした。今年は、昨年の経験を活かし、ISOに深く携わっていきたく思います。

**齋藤一真** 文化団体連合会計 渉内渉外局長 情報工学科2年 掛川工業高校 今までISOに携わって来て、多くの事を学びました。ISOも少しずつ学内に広まってきてはいますが、これを学内全体で当たり前のよう広めていけるように頑張っていきたいと思います。

**川本祐一** 文化団体連合会広報局長 情報工学科2年 藤岡工業高校 大学に入って自分がISOに関係してくるとは思わなかった。少しずつではあるがISOと言うものが分かってきたと思う。がんばるぞ。

はい、さらに高いレベルを目指します。期待してください!!



## N.I.T. OPEN DOOR

日本工業大学 環境推進事務局

環境に関するご意見や話題  
本誌に対するご要望など  
お気軽にお寄せください。

Eメール: iso14001@nit.ac.jp  
TEL. 0480-33-7503  
FAX. 0480-34-2941



## 日本工業大学へのアクセス

- 最寄り駅: 東武伊勢崎線  
または地下鉄日比谷線の東武動物公園下車、約1,300m
- 上野から40分
- 新宿から60分
- 銀座から60分
- 表参道から60分

**日本工業大学**

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1  
TEL.0480-34-4111(代) FAX. 0480-34-2941  
http://www.nit.ac.jp